

横浜まちづくりラボ「“知と創造”をテーマとしたまちづくり」シリーズ 第3回 教育文化センター跡活用等に向けてコンセプトづくりを行いました！



第6回、第7回、第8回の横浜まちづくりラボでは、横浜文化体育館再整備に続くリーディングプロジェクトとなる教育文化センターの跡活用に向けて、現市庁舎の跡活用との関係も視野に入れたコンセプトづくりを進めました。

“知と創造”をキーワードとしたまちづくりの可能性について、3回シリーズで開催し、ディスカッションを通じて、「まちづくりのコアとなる機能」の具体的なイメージなどを生み出しました。

シリーズの開催概要

	日時・場所	参加者数	主な内容
1	1月22日 14:00-16:00 横浜市技能文化会館	94名	田中 浩也 氏(慶應義塾大学環境情報学部准教授)、廣常 啓一 氏(株式会社新産業文化創出研究所 代表取締役所長)をお招きし、「“知と創造”をテーマとしたまちづくり」についてトークセッションを行いました。
2	2月12日 13:30-16:15 明治安田生命ラジオ日本ビル	61名	「知と創造をテーマとしたまちづくり」の可能性について、希望者によるショートプレゼン及びグループワーク形式でのブレインストーミングを実施し、幅広くアイデアを出し合いました。
3	3月5日 13:30-16:15 関内新井ホール	53名	前回のアイデアをもとにして、「まちづくりのコアとなる機能」、「機能のユーザー・利用イメージ」、「周辺への波及効果」について、実現可能性を考慮しながら、具体的なコンセプトづくりを行いました。



第8回ラボ「まちづくりのコアとなる機能」

シリーズのまとめとなる第8回ラボでは、A～Fのグループに分かれ、実現性を考慮しながら「まちづくりのコアとなる機能」などについてディスカッションを行いました。

A～Fグループから出されたアイデアでは、下記の機能の可能性が示されました。

今後は、これらの機能の実現性や融合の可能性について検討を進めるとともに、産業分野との連携による新たなサービス創出の可能性について議論を進めていきます。

また、公有地だけでなく周辺の民間ビルへの展開の可能性についても検討を進めます。

まちづくりのコアとなる機能イメージ

- ◆ 『**教育・研究機能**』
大学等の教育機関や企業の研究所等を集積し、人材育成とネットワークづくりを行う
- ◆ 『**国際交流機能**』
来日した旅行者や海外都市に対して、横浜または日本の情報を発信する
- ◆ 『**ウェルネス機能**』
高齢化社会における社会課題に対応し、年齢や状態に応じた健康・医療サービスを提供する

A～Fテーブルのディスカッション結果

まちのコア機能		波及効果
A	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な高次教育拠点機能 ・グローバル人材の育成機関 ・大学コンソーシアム ・教育機関と産業が連携した 新産業創出・研究開発機能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学びの場により、国際的で、世代を超えた交流を行う ・交流から新たなビジネスを生む ・バックヤードとしてのまちの活性化 ・横浜ブランドの向上・再認識 など
B	<ul style="list-style-type: none"> ・新事業が実現する場としての機能 ・企業の企画や開発、研究の拠点とオープンイノベーション(発表、議論)の場が共存する産業創出の場 ・常設・定期的展示会のような場 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の不動産価値向上 ・回遊性向上による歩行者の増加 ・民間ビル等の空室を、新しい産業が生まれる拠点として活用 など
C	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・人材育成機能 ・教育機関、企業研究所 ・多様な人が集うための機能 ・マイナーだが面白いものを発信するセンター など 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や研究者の増加によるまちの活性化 ・観光客の増加による商店街の活性化 ・夜のまちを活性化させ、MICEのバックヤード機能を担う、観光客の夜の回遊性強化 ・まちをつかった企業活動を増やす など
D	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・健康・医療拠点機能 ／ニーズに応じたサービスを受けられる健康関連産業の集積(誰もが元気になる場) ・スポーツ、語学などのこども教育機能／プロスポーツチームや周辺のインターナショナルスクール等と連携 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・来街者の増加による商店街活性化 ・子どもが集う事による街のイメージ向上 ・イベントによる賑わい創出とブランド向上 ・新規事業展開による、まちの空室活用(子どものお稽古の場や、生活に必要なお店をつくる) など
E	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化発信機能 ・発信力あるコンテンツ提供、展示、ショップ施設 ・産学国際交流センター機能 ・横浜の留学生が集まる国際的な教育センター など 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターナショナルシティYOKOHAMAのブランド形成 ・来街者の増加による活性化 ・多世代、多国籍の人々が協存するまちとしてのイメージアップ ・新たな名所の誕生 など
F	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流機能 ／横浜の技術を発信するとともに、アジアのニーズをつかんだ事業創出を行う ・大学、図書館 ・研究者、技術者が集まる研究機能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設の見本市機能、商談の場として空きオフィス空間が活用される ・地元企業の海外進出支援 ・企業集積、旅行者、転入者の増加 域外からの企業流入による税収増化 など